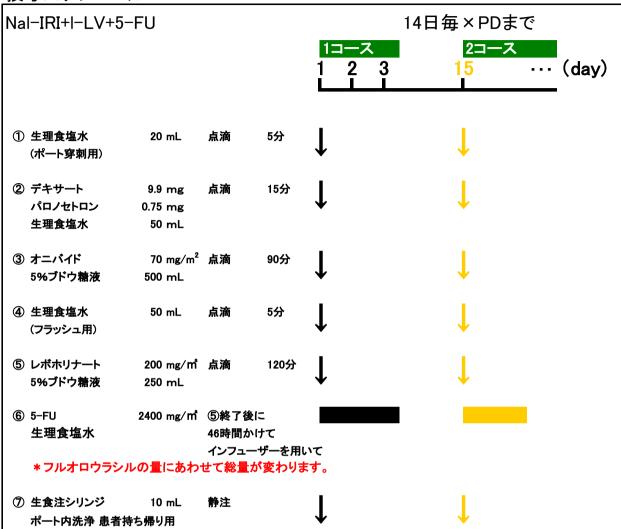
登録日 2020/11/24 レジメン名 Pan006

腫瘍名|膵臓がん

申請医師 消化器外科

投与スケジュール



注意事項

- ・原則、ゲムシタビン含有レジメンの治療歴があること
- ・UGT1A1遺伝子多型の測定を実施する。

ダブルヘテロ、ホモの場合は、オニバイドの開始用量を1回50mg/m2とする。

忍容性が認められる場合は、増量が可能。

(添付文書、適正使用ガイド参照)

- ・オニバイドはルートにインラインフィルターを使用しない(リポソーム製剤のため粒子が詰まるため)
- ・減量基準(項目に該当した場合、投与レベルを1レベル減量する)

減量すべき条件は、DINETからオニバイドを検索し、添付文書や適正使用ガイドを参考とする。

下記に示した減量基準が、臨床試験で用いられた内容。減量条件に該当した場合、下記を参考とする。

- *減量 1段階⇒オニバイド:50mg/m2(開始量が50mg/m2の時は、43mg/m2)、5-FU持続:1800mg/m2 2段階⇒オニバイド:43mg/m2(開始量が50mg/m2の時は、35mg/m2)、5-FU持続:1350mg/m2
 - 3段階⇒オニバイド:中止、5-FU持続:中止

参考文献

- 1). Lancet, 387, 545-557 (2016).
- 2). オニバイド適正使用ガイド, 2020年6月作成
- 3) NCCN Guideline Ver 1.2020
- 4) 日本膵癌学会、診療ガイドライン改訂版